平成２１年３月

関　係　各　位

海 洋 政 策 研 究 財 団
((財)ｼｯﾌﾟ・ｱﾝﾄﾞ・ｵｰｼｬﾝ財団)
会　長　　秋　山　昌　廣

「海の健康診断」共同研究実施自治体の公募について

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当財団の事業につきましてはご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当財団では、競艇交付金による日本財団の支援を受けて、平成１２年度より閉鎖性海湾の環境を構成しているさまざまな「海の営み」を検査・評価する「海の健康診断」の手法開発を全国に先駆けて行って参りました。

昨今、第３次生物多様性国家戦略や海洋基本計画などで生物多様性の確保の必要性が唱われていますが、生物の多様性が確保されるためには、対象海域の生態系や物質循環が健全であることが不可欠です。

「海の健康診断」は、既存のモニタリングデータを最大限活用し、海湾の規模や背後圏の活動、地理的特性など湾の「体格」や「体質」を踏まえて検査・診断することで、環境悪化の兆候を早期に発見することができます。また、既に環境が悪化しつつあるところで運用することにより、環境悪化の原因である「患部」を特定することも可能です。

「海の健康診断」については、これまでに「海の健康診断マスタープラン・ガイドライン」をまとめたのをはじめ、平成１６年度、１８年度、２０年度には、全国の閉鎖性海湾を対象にして一斉に検査・診断を行いました。この「海の健康診断」は、既に一部の自治体においては、その行政施策に取り入れられています。

そこで同診断の更なる普及促進のため、平成２１年度事業として閉鎖性海域の環境管理に日夜ご苦労されている自治体と共同で「海の健康診断」を対象海域の環境特性や管理の実情に即した、より精緻なものとするための研究を行うこととしました。この研究は共同で実施いただく自治体を公募により選定して行います。

つきましては、下記のとおり公募いたしますので、関係部局並びに関係自治体への周知方よろしくお願いいたします。みなさまのご応募をお待ちしております。

敬具

記

１．募集自治体数　４自治体（都道府県市町村）程度

２．共同研究期間　平成２１年度～平成２２年度　（２年間）

３．共同研究内容　当財団が研究開発した「海の健康診断」手法を対象海域（閉鎖性海湾）に適用し、その環境特性や管理の実情に即して、より精緻に行うための研究

２１年度：「海の健康診断」手法を対象海域（閉鎖性海湾）で精緻に適用するための改良研究

２２年度：改良した「海の健康診断」手法を用いて対象海域を診断し、環境悪化の原因の特定、その他を行う研究

※２１年度の研究進捗によっては、２２年度の内容の一部について前倒して実施する場合があります。

４．応募条件　①当財団と共同して事業実施ができること。

②「海の健康診断」を対象海域で実施するにあたり、別添冊子「海の健康診断考え方と方法」【PDF】に記載のモニタリングデータ等の取得が行われていること。

③事業経費について、１／２程度を負担できること。

具体的な経費につきましては、モニタリングデータの取得状況等により異なりますので、詳しくは担当者までお問い合わせ下さい。

５．応募方法　書面にて自治体の長よりご応募下さい。（様式自由）

６．応募期間　自　平成２１年３月２３日

至　平成２１年４月１７日

７．選考方法　応募条件を勘案して決定させていただきます。

問い合わせ先：　海洋政策研究財団

政策研究グループ海洋研究チーム　大 川

03-3502-1891

以　上